**＜論文要旨＞**

**国内楽器産業の技術の伝承と生産戦略**

**－フルート製造業を事例とした考察－**

**赤松　裕二**

**大阪市立大学 客員研究員**

**【要旨】**

国内の楽器市場は、少子化や個人の趣味の多様化の影響を受けて縮小を続けており、日本の楽器産業は厳しい環境におかれている。そのなかで、日本のフルートメーカーは欧米をはじめ世界的に高い評価を得ており、中小・零細企業であっても国際的な評価を得ている楽器ブランドも多く存在している。

日本におけるフルート製造は90年以上の古い歴史を有し、既存メーカーからの独立によって多くのフルートメーカーが創業し、広く技術の伝承が行われてきた。また、量産化や効率化の動きのなかで製造工程や材料・部品の調達も変化し、従来の擦り合わせ型の生産スタイルから、水平分業によるモジュール化の動きも見られるようになった。

本研究では、フルート製造という西洋楽器の分野において日本企業が品質的に高い評価を受け、新興国企業が台頭する現在でもその地位を維持していることに着目し、技術の伝承と独立・起業の系譜、生産における戦略に焦点を当てて考察した。